

# 新 風

齊藤守 市議会報告

第19号



人は 幸せな生活を求め  
政治は 幸せを実感できる  
社会をめざす

私の願いは  
「幸せ創りのお手伝い」  
みんなの幸せは 私の幸せ  
だから私は 市政を担う

ご挨拶

齊藤 守

新しい年を迎え、皆様方には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

昨年中は大変お世話になり、心から御礼申し上げます。昨年は、選挙の年でもありませんでした。三月は千葉県知事選挙、六月は船橋市長選挙・九月には衆議院議員選挙があり、国・県・市の今後を決める大事な年でもありました。

市長選においては、大勢の皆様のご支援をいただき、藤代孝七市長が見事三選を果たすことができました。また、衆議院選挙におきましては、応援した藤田幹雄氏が九百四十四票の僅差で小選挙区は敗れてしまいました。比例区で見事トップで復活する事が出来ました。心から感謝申し上げます。

今年は私にとっても、大変重要な年と思っております。特に議会に対しては、幾つかの改革案を提起しており何とか解決し、議会の活性化を図って参る所存です。今後もご支援よろしく願います。

平成十八年 元旦

## 十一月議会△云より

十二月議会に於いては、以下のような質問をし、回答を得ました。

### 一、坪井地区について

この地区は新しい住民も二百所帯近く住まわれており、平成十九年四月には新しいコミュニティとして認定し、活動の中核施設としては公民館を中心とした、子どもや高齢者の為の複合施設として検討する。また、四、五年後には利用できるようにしたい。(市長・助役答弁)

二、『なし』の剪定枝については、堆肥化事業を計画しようとしており、その計画の中で、実際に稼動するまでの間を、野焼きしなくても済むような方策を、補助金等も含めて検討する。(経済部長答弁)

三、市の計画のほとんど(基本

構想を除く)は、議会の議論を経ずに策定されている。十年・二十年といった長期の基本的計画は、議会に諮るべきではないか。(私的主張)

## 議会△云改革

六年半に渡り市議会議員として活動する中で、変更したほうが良いと思う点について、議会に提起し現在議論をしております。

### 一、議場の形を対面式に

現在議場での議員の質問は演台において議員に向かって話す形を取っているが、本来議論は理事者(市長等)に向かってすべきである。

### 二、決算審査を九月議会で

船橋市では前年の決算書は、九月末に議会に提出され、十一月に決算特別委員会で議論され、十二月に議会の認定を受ける。翌年度の予算は十一月頃にはほぼ固まってしまう事から考えると、決算審査をこのスケジュールで行なうこと

議会として翌年度の予算に決算を反映させる事が難しくなる。(昔と違ってコンピューター時代であり対応可能と考える)

### 三、市の基本計画を議会に諮る

現在、市の様々な計画は議会に諮ることなく作成され公表されている。議会は出来上がった計画書を見て議論をしているわけだが、計画段階から議論して作るべきと考える。地方分権時代にふさわしい議会に変える必要があると考えます。

以上のような議会改革案を出していただきます。

こうした議会のあり方については、議会全体で考えてもらいたいと思い、議会運営委員会において議論してもらっています。今後も疑問に思う点については、一つ一つ提起していきたいと思えます。このままでは議会の必要性まで問われるのではないかと危機意識をもっています。

## 教科書について

三月議会において市立船橋高校で使われている家庭科の教科書（ほとんどの高校が使っている）を材料に、これから大人になる若者に対してどのような教育が行なわれているかを議論しました。

私の目から見る限り、この教科書は大変偏った考え方で構成されており、この教科書で人生観や結婚観・家族観・子育てに対する考え方を身につけた若者は、決して幸せな人生を送ることはできないのではないかと思います。

また、中学校で使っている『歴史』や『公民』の教科書なども、私たちが子どもの頃教わった内容とずいぶん違っています。一度お子さんやお孫さんの教科書をご覧いただき、感想をお聞かせ下さい。

メール又は同封のハガキをお使いください。

## 昨年の 10 大ニュースから思う

昨年の 10 大ニュースの中に必ず出てくるのが、JR福知山線の脱線事故とマンションなどの耐震偽装事件である。この 2 つには共通点がある。脱線事故は経営効率化の為の過密運転と安全装置未設置で 107 人の命を奪った。耐震偽装は「経済設計」と称して、住む人の安全を考えない建設である。

どちらも「人の幸せを創る」という目的を忘れ、経済(マネー)を目的としてしまった結果である。まさに本末転倒である。「経済は手段であり道具である。」ということ、我々はもう一度肝に命じなければならないであろう。

目的はあくまで『人の幸せ』である。

現代は全ての価値をマネーに置き換えて判断している。政治も教育も価値判断の『ものさし』を考えてみる必要があるだろう。

清水寺の貫主は昨年1年間を表す漢字1字を『愛』と書いた。ひよっとするとその辺に『ものさし』があるのではないだろうか。

トマトを作る人はトマトの顔を見て、水が足りないだろうか？ 温度はどうだ？ 肥料は？ と毎日ハウスの中を調節するという。だから美味しいトマトが出来るのだろう。生産者のトマトに対する『愛』がトマトを通じて消費者に届くのだろう。マネーは結果である。

では、政治という場でどう生かすか？ それが私の今年のテーマだと思う。

斉藤守のホームページのご案内

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~msaito/>

## ホームページのご案内

船橋市では議会の内容をホームページでご覧いただけるようにしております。まず、船橋市のページ(<http://www.city.hunabachi.chiba.jp/>)を開いて、そこから「船橋市議会」のページに入ってください。本会議の議事録を見るには、そこから「本会議記録」をクリックすると平成7年からの本会議が全て見られます。ちなみに、斉藤守の質問は

平成11年 4定 12月9日

平成12年 1定 3月13日・3定 9月19日・4定 12月12日

平成13年 1定 3月14日・3定 9月13日・4定 12月13日

平成14年 2定 6月10日・3定 9月17日・4定 12月13日

平成15年 3定 9月17日・4定 12月9日

平成16年 2定 6月14日・4定 12月14日

平成17年 1定 3月11日・2定 7月7日・4定 11月28日 12月9日

に行なっております。また、平成17年度分は「本会議中継」をクリックすると録画も見られます。ご意見はメール([mamoru-st@mta.biglobe.ne.jp](mailto:mamoru-st@mta.biglobe.ne.jp))または、同封のハガキでお寄せください。

### 斉藤 守

#### \*経歴\*

埼玉県立不動岡高等学校卒業  
同志社大学法学部政治学科卒業  
衆議院議員秘書  
船橋市立坪井小／中学校 PTA 会長  
船橋市 PTA 連合会会長

#### \*議会歴\*

平成 11 年市議会 初当選  
文教委員会副委員長／議会運営委員  
予算特別委員会副委員長 等  
平成 15 年度市議会 2 期目当選  
総務委員／四市複合事務組合議員 等  
市民環境経済委員会 委員長

#### \*事務所\*

〒273-0001 船橋市市場 5-1-21  
TEL:047-460-3110 fax:047-460-0732

#### \*自宅\*

〒274-0062 船橋市坪井町 493

この『新風』は、斉藤守事務所の名簿に登録させていただいている方や、名刺交換させていただいた方等に送らせていただいております。  
送付にあたっては十分注意しておりますが、ご結婚やご不幸等で家族構成が変わっている場合には、ご無礼をお許しください。その場合は、大変ご面倒ですが、同封のはがき等でその旨お知らせいただければ幸いです。変更・修正をさせていただきます。